

2016年6月16日

Classi 株式会社
代表取締役社長 山崎昌樹

クラッシー

学習支援クラウドサービス「Classi」、 小中学校・専門学校・大学へサービスを拡大 2016年度、全国1,400校以上に有料版「Classi」を導入予定

株式会社ベネッセホールディングス(本社:岡山市北区)とソフトバンク株式会社(本社:東京都港区)の合弁会社 Classi(クラッシー)株式会社(本社:東京都新宿区)は、2016年4月より小中学校・専門学校・大学へサービスを拡大しました。今回の拡大によって、2016年度に有料版「Classi」を導入する学校は、高校を含め約1,400校になる予定です。

小中学校向けには、「Classi」の学習履歴を一元管理する機能である「生徒カルテ」を拡張し、ベネッセが提供中の学校教育用タブレット学習ソフト「ミライシード」と連携します。これにより、生徒が授業で学習した内容を先生が一元的に管理することが可能となり、授業から評価までをシームレスに行えることで、教室での子どもたちの主体的な学びの促進と、職員室での先生の指導・評価支援の両面をサポートしていきます。また、専門学校・大学向けには、高校向け「Classi」同様、生徒の学習状況や成績、活動履歴などが蓄積される「生徒カルテ」の機能や、先生同士の簡単な情報共有を可能にする機能のほか、リメディアル教育(補習教育)に活用できるコンテンツも用意しており、先生の業務効率化を支援する機能を提供します。

ベネッセグループ、ソフトバンクグループおよび Classi は、教育における ICT 活用の重要性と今後の一層の高まりを見据え、パートナーとのアライアンスと最新テクノロジーを活用しながら、未来を生きる子どもたちによりよい学びを提供できるよう、新たな教材・サービスの開発に取り組んでまいります。

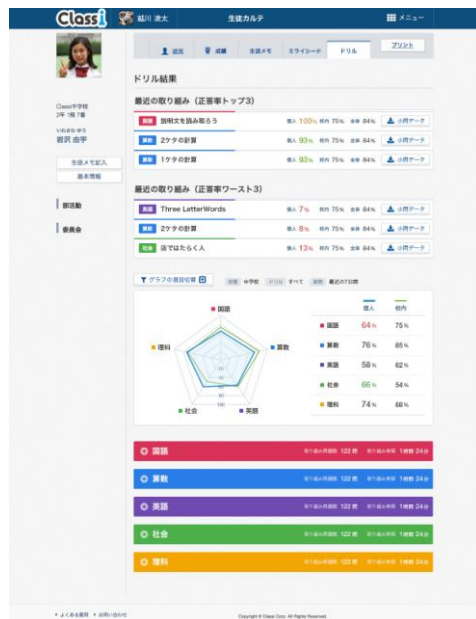
【Classi について】

学習支援クラウドサービス「Classi」は、2015年4月より有料サービスを開始し、先生、生徒双方を支援するサービスとして、現在小中学校、高校、専門学校、大学向けに提供しています。生徒と先生や、保護者と先生をつなぐ豊富なコミュニケーション機能や、先生が生徒の学習・成績情報を閲覧・管理できる機能、生徒が家庭学習の実施状況を記録できる機能など、授業や面談、家庭学習シーンで利用できる各種アプリケーションをそろえています。

また、高校向け(※中高一貫校含む)には、生徒にとって集中力を持続しやすい5分前後の動画を10,000本以上そろえた「教材動画」や、ベネッセのテストと連動した「学習動画」、科目、単元別や難易度別にカテゴリー分けした教育系大手出版社などのテスト問題など、授業内や授業後の学習に幅広く活用できるコンテンツを提供しています。さらに、アダプティブラーニングも今夏より本格的に提供を開始します。

最近の Classi の動きについては、2016年5月17日プレスリリース「今夏より Classi にアダプティブラーニングを本格提供」(<https://classi.jp/info/press6.html>)、および2016年6月7日プレスリリース「神奈川県教育委員会と3年間の共同研究を開始」(<https://classi.jp/info/press8.html>)をご覧ください。

■小・中学校向け「Classi」画面



小中学校向け「Classi」は、ベネッセが提供するタブレット学習ソフト「ミライシード」と連携し、生徒の学習履歴が、「Classi」の「生徒・児童カルテ」として蓄積され、先生の指導に役立ちます。また、先生間の交流を促進するコミュニケーション機能を備え、ファイルの共有ができるなど、日々のやりとりから研究授業の授業案検討まで幅広いシーンで利用することができます。グループ機能では校外の先生と交流することができ、広くノウハウの共有や相談などができます。

【ミライシードとは】

ベネッセが学校教育用に提供するタブレット学習ソフトです。「一斉」「個別」「協働」それぞれの学習シーンにおける子どもたちの主体的な学びと、先生の指導を支援しています。

<http://www.teacher.ne.jp/miraised/>

【サービスのお問い合わせ先】

Classi 株式会社のホームページをご覧ください。 URL : <https://classi.jp/>